

令和元年 8 月 30 日  
愛 媛 大 学

## 第 42 回 現代教養講座(放送県民大学)の受講者募集

豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座（放送県民大学）を下記の県下 3 会場で開催します。各会場ごとに計 3 回、テーマごとの映像と本学の教員による講義で、知識を深めていただきます。受講者を募集しておりますので、興味のある方は是非ご参加ください。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

### 日時・講座内容・会場・募集人数【受講無料】

□中予会場（松山市）愛媛県生涯学習センター 開講時間 10：00～12：00 定員 各 100 名		
10 月 6 日（日）	「災害大国」日本 ～平成 30 年 7 月豪雨災害を中心に～	愛媛大学工学部 教授 安原 英明
12 月 1 日（日）	アフリカの風土と酒	愛媛大学社会共創学部 教授 寺谷 亮司
12 月 15 日（日）	人生を変えた瞬間 ～子規・漱石他～	愛媛大学法文学部 客員教授 木藤 隆雄
□東予会場（新居浜市）愛媛県総合科学博物館 開講時間 13：30～15：30 定員 各 60 名		
9 月 8 日（日）	やさしい？やさしくない？日本語と中国語 ～留学生にとっての日本語と、日本人にとっての中国語～	愛媛大学国際連携推進機構 准教授 伊月 知子
10 月 20 日（日）	塩が結んだ瀬戸内とアジア – 明治時代の食塩生産と海外輸出 –	愛媛大学法文学部 准教授 中川 未来
12 月 1 日（日）	源氏物語に見る女性たち ～紫式部の恋愛観～	愛媛大学非常勤講師 聖カタリナ学園高等学校 教諭 田中 千晶
□南予会場（西予市）愛媛県歴史文化博物館 開講時間 13：00～15：00 定員 各 60 名		
10 月 19 日（土）	草原の帝国 ～匈奴と大モンゴル国～	愛媛大学法文学部 准教授 笹田 朋孝
11 月 30 日（土）	万葉挽歌の世界	愛媛大学法文学部 准教授 秋山 英治
12 月 7 日（土）	伝統と革新が併存する中国社会の現状について – 中国社会に対する再認識 –	愛媛大学国際連携推進機構 教授 陳 捷

受講資格：原則として、県内に在住、もしくは勤務の方

申込方法：受講を希望される方は、住所、氏名（ふりがな）、年齢、性別、電話番号、希望会場をご記入の上、愛媛県生涯学習センターの窓口または郵送、FAX でお申し込みください。

受講者の決定：受講できる場合は特に連絡いたしません。※定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けます。

申込先：愛媛県生涯学習センター 〒791-1136 松山市上野町甲 650 番地

電話：(089) 963-2111 FAX：(089) 963-4526 電子メール top@i-manabi.jp

ホームページ：<http://www.i-manabi.jp/>

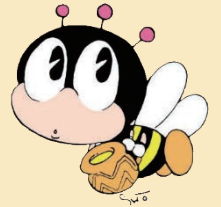
※送付資料 3 枚（本紙を含む）

本件に関する問い合わせ先  
教育学生支援部 教育企画課 総務チーム  
TEL 089-927-8101（ダイヤルイン）  
Mail：manabi@stu.ehime-u.ac.jp

学ぶ喜び、知る楽しさ。

令和元年度  
第42回

# 現代教養講座



生涯学習のマスコット「マナビイ」  
デザイン：石ノ森華太郎

(放送県民大学)

受講  
無料

愛媛県では、県民のみなさまに豊かな教養と創造力を培っていただくため、現代教養講座（放送県民大学）を下記の県下3会場で開催します。各会場ごとに講座に関する映像をご覧いただき、愛媛大学の先生方による講座を受けて、知識を深めていただきます。

受講者  
募集

中予会場

松山市



愛媛県  
生涯学習センター

◆時間 10:00～12:00  
◆定員 各100名

10/6(日)

「災害大国」日本  
～平成30年7月豪雨災害を  
中心に～

学び舎  
えひめ

愛媛大学工学部 教授

安原 英明

12/1(日)

アフリカの風土と酒

学び舎  
えひめ

愛媛大学社会共創学部 教授

寺谷 亮司

12/15(日)

人生を変えた瞬間  
～子規・漱石他～

学び舎  
えひめ

愛媛大学法文学部 客員教授

木藤 隆雄

東予会場

新居浜市



愛媛県  
総合科学博物館

◆時間 13:30～15:30  
◆定員 各60名

9/8(日)

やさしい？やさしくない？  
日本語と中国語  
～留学生にとっての日本語と、  
日本人にとっての中国語～

学び舎  
えひめ

愛媛大学国際連携推進機構 准教授

伊月 知子

10/20(日)

塩が結んだ瀬戸内と  
アジア

学び舎  
えひめ

～明治時代の食塩生産と海外輸出～

愛媛大学法文学部 准教授

中川 未来

12/1(日)

源氏物語に見る女性たち  
～紫式部の恋愛観～

愛媛大学 非常勤講師  
聖カタリナ学園高等学校 教諭

田中 千晶

南予会場

西予市



愛媛県  
歴史文化博物館

◆時間 13:00～15:00  
◆定員 各60名

10/19(土)

草原の帝国  
～匈奴と大モンゴル国～

学び舎  
えひめ

愛媛大学法文学部 准教授

笹田 朋孝

11/30(土)

万葉挽歌の世界

愛媛大学法文学部 准教授

秋山 英治

12/7(土)

伝統と革新が併存する  
中国社会の現状について  
～中国社会に対する再認識～

学び舎  
えひめ

愛媛大学国際連携推進機構 教授

陳 捷

主催：愛媛県生涯学習センター、愛媛大学

後援：愛媛新聞社、NHK松山放送局、南海放送、テレビ愛媛、あいテレビ、愛媛朝日テレビ、愛媛CATV、FM愛媛

# 講師紹介

## 中予会場

### 安原 英明

(やすはら ひであき)



岡山県出身。愛媛大学大学院理工学研究科教授。工学部国際連携委員長。専門は、岩盤工学および地盤工学。特に、岩盤の浸透問題や堅牢性評価、地盤防災について研究。

我が国は、言わずと知れた災害大国です。平成の30年間にも多くの地震・豪雨災害を経験しました。昨年の「平成30年7月豪雨災害」では、愛媛県も甚大な被害を受けました。これからも起こるであろう自然災害に備えるためにも、昨年の豪雨災害について再度考えたいと思います。どのような被害がなぜ、どこで、どの程度発生したのか斜面被害を中心に紹介したいと思います。

### 寺谷 亮司

(てらや りょうじ)



北海道小樽市出身。愛媛大学社会共創学部教授・地域共創研究センター長・モザンビーク交流推進班長。専門は、東・南部アフリカ都市、世界の酒・盛り場、まちづくりの研究など。

東・南部アフリカの風土をみると、標高が高いのに平地であり、溫和で快適な気候が卓越し、原住民は黒人でないなど、皆さんのアフリカ・イメージとは異なっています。この地域の伝統酒は、主食の雑穀を原料とする醸造酒（ビール）です。アフリカ最南端のケープタウン周辺では地中海性気候を活かしてワインやブランデー、インド洋岸地域ではラムが造られるなど、アフリカの多彩な酒類文化も紹介したいと思います。

### 木藤 隆雄

(きとう たかお)



愛媛県出身。ニッポン放送アナウンサーを経てフリー。現在、愛媛朝日テレビのニュースコメントーターの他、川柳番組にも出演。愛媛大学法文学部客員教授。

若いころ建築家を夢見ていた夏目漱石は、友人の一言で英文科へ進み、文豪への道を歩み始めます。この友人は、正岡子規の進路にも少なからず影響を与えています。ある少年は、落語好きが昂じ、入門志願のため柳家小さんの家を訪ねましたが、家の前で掃除をしていたお弟子さんに、「高校出てからおいで」と追い返されました。その少年は、その後、誰もが知っている名アナウンサーになりました。そんな、人生の不思議さについて語ります。

## 東予会場

### 伊月 知子

(いつき ともこ)



大阪府出身。愛媛大学国際連携推進機構准教授。専門は日本語教育。留学生の日本語授業を担当する傍ら、留学生の日本就職を支援するプログラムを運営。

日本人にとって漢字の国である中国は身近に感じられ、テレビに中国の街角の漢字の看板が映ると、なんとなく意味も分かるような気がします。実際に中国ではどんな漢字が使われているのでしょうか。漢字が分かれば中国語は「やさしい」でしょうか。一方で、愛媛で暮らす留学生にとって日本語はどう見えて（聞こえて）いるのでしょうか。言語に対して視点を変えることで、これからのコミュニケーションについてお話ししたいと思います。

### 中川 未来

(なかがわ みらい)



宮崎県出身。愛媛大学法文学部准教授。専門は日本近現代史。とりわけナショナリズムや対外観形成について、思想史的手法をベースに、メディア史や社会経済史、地域史の視点を加味して研究している。

幕末開国以来の日本社会は、電信網や汽船による大陸間航路、また大陸横断鉄道といった情報通信・交通技術の進展により形成された地球規模の市場へ参入することになりました。今回は、明治期に地域の特産品である食塩の輸出を通じて中国や朝鮮への進出を図った瀬戸内塩業者たちの軌跡をたどることで、19世紀末のグローバル化状況への地域社会の対応を考えてみたいと思います。

### 田中 千晶

(たなか ちあき)



愛媛県出身。聖カタリナ学園高等学校教諭、愛媛大学法文学部非常勤講師。専攻は日本語学。方言話者の意識と、日本語教授法を研究。

華やかな貴族文化が花開いた平安時代。その平安時代中期に成立したのが『源氏物語』です。登場人物は約500名、作中では800首近い和歌が飛び交い、光源氏と女性たちとの関わりが美しくも悲しく描かれています。また、作品を紐解いていくと、貴族社会に関わる女性たちの苦勞がアイロニカルに表現されています。現代の私たちに共感できる内容がたくさんありますので、そこに注目して紫式部の恋愛観と一緒に読み解いていきましょう。

## 南予会場

### 笹田 朋孝

(ささだ ともたか)



広島県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は考古学。東北アジア地域の製鉄、幕末日本の近代産業化（反射炉・海軍所）など、人と鉄の関わりを研究。

東アジア最初の遊牧帝国である匈奴と東西世界を領有した最初の帝国である大モンゴル国は、いずれもモンゴル草原に生まれ、中国だけではなくユーラシア全域に多大な影響を与えました。遊牧帝国の揺籃の地であるモンゴルでは近年、数多くの遺跡が発掘され、文献資料に記載されていない新たな事実が明らかとなっています。そこで最新の発掘成果にもとづいて、遊牧帝国の実態に迫ってみたいと思います。

### 秋山 英治

(あきやま えいじ)



愛媛県出身。愛媛大学法文学部准教授。専攻は、日本語学。愛媛県を中心とした瀬戸内海沿岸地域の方言（アクセント）について研究。

新元号「令和」の典拠となった『万葉集』には、死者を悼み哀傷する歌「挽歌」が詠まれています。『万葉集』には260首あまりの挽歌が詠まれています。その様相はさまざまで、時代により、作者により、また制作事情の違いによって、実にさまざまな表情を見せています。「挽歌」を通して、当時の人々が死をどのようにとらえていたのか、万葉人の死生観の一端について触れてみたいと思います。

### 陳 捷

(ちん しょう)



中国の長春市出身。前国際教育支援センター長。現在、国際連携推進機構教授。専攻は中国経済学、金融史学。主に近代中国における金融機関と民族商工業関係について研究。

伝統文化視点から中国人は「イエ」に対して、帰属意識を分析して、経済行動、伝統消費形式から新たな消費形式へ、例えば、無店舗のインターネットで買い物、無現金の支払い方式を紹介したいと思います。特に、近年、中国社会、経済の発展に伴って、中国人は如何なる伝統文化を守りながら、新たな革新社会を迎えていくか、以上の事を踏まえながら、中国社会及び経済社会の現状について説明したいと思います。大家族の考え方と核家族の現状、現金消費市場の縮小と電子マネー流行のことも紹介したいと思います。

○受講資格/原則として、県内に在住、もしくは勤務の方。

○受講料/無料

○申込方法/受講を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号、希望会場をご記入の上、窓口または郵送、FAXでお申し込みください。

※電子メールによるお申し込みを希望の方は、愛媛県生涯学習センターのホームページ (<http://www.i-manabi.jp/>) をご覧ください。

○受講の決定/受講できる場合は、特にご連絡いたしません。※定員に満たない講座は、開講日当日まで受け付けます。

会場	申込/問合せ先
愛媛県生涯学習センター (松山市) 所在地: 愛媛県松山市上野町甲650番地	<b>愛媛県生涯学習センター</b> 〒791-1136 愛媛県松山市上野町甲650番地 電話: 089-963-2111 FAX: 089-963-4526 E-mail: top@i-manabi.jp ホームページ: <a href="http://www.i-manabi.jp/">http://www.i-manabi.jp/</a>
愛媛県総合科学博物館 (新居浜市) 所在地: 愛媛県新居浜市大生院2133-2	
愛媛県歴史文化博物館 (西予市) 所在地: 愛媛県西予市宇和町卯之町4-11-2	



QRコード